

マツゲン箕島サヨナラ

第4代表決定！シーソーゲーム制す



近畿2次予選

第95回都市対抗野球大会近畿地区2次予選

(日本野球連盟近畿地区連盟、毎日新聞社主催)は30日、京都市のわかさスタジアムで第4代表決定トーナメント2回戦2試合と第1代表決定戦があった。

同2回戦ではマツゲン箕島(有田市)が大和高田クラブ(奈良県大和高田市)に6-5で延長十回逆転サヨナラ勝ちし、大阪ガス(大阪市)はYBSホール

ディングス(兵庫県赤穂市・姫路市)に7-1で快勝。勝者は同3回戦に進み、敗者は予選敗退となった。第1代表決定戦は日本製鉄瀬戸内(兵庫県姫路市)と



【大和高田クラブーマツゲン箕島】十回裏マツゲン箕島2死一、二塁、青木の右越え二塁打で、二塁走者に続き一塁から臼井(番号26)も生還。逆転サヨナラ勝ちに喜ぶ選手たちー京都市のわかさスタジアム京都で

日本生命(大阪市)が対戦した。31日は大阪市の大阪シティ信用金庫スタジアムで第3代表決定トーナメント1回戦2試合が行われる。

【来住哲司、山口敬人、中田博維、大坪菜々美、栗田亨】

▽第4代表決定トーナメント2回戦

大和高田クラブ
0000000100315
002200000026
マツゲン箕島

(延長十回、十回からタイブレーク)

(大) 松林、楠本、日高、古川、畑中、西下、深尾、山元、森山、奥田、藤田幸、二塁打 犬飼、西浦、松本、岡大樹、藤田希、富田、竹中、青木、マツゲン箕島は竹中、臼井の連続長短打

で三回に2点を奪うなど先行。延長十回に勝ち越されたが、その裏に青木が逆転2点二塁打を放って勝負を決めた。大和高田クラブは九回に松本、深尾の適時長短打で追い付くなど粘ったが、力尽きた。

ミス挽回の一打

○：接戦に終止符を打ったのはマツゲン箕島・青木雄大のバット

だった。前半で主導権を握りながら、西川忠宏監督が「新人ながらウチのエース」と信頼する奥田貴太が九回に3点差を追い付かれるまさかの展開に。タイブレークの十回表にはリードを許し、その裏も無死一、二塁から送りバントの失敗に代打も倒れ、後がなくなつた。2死一、二塁で打席には「八回は(盗塁失敗など)僕のミスで

追加点を取れなかったので打ちたかった」という青木。ストリート振り抜いた打球は右越えに抜けていく2点二塁打となり逆転サヨナラ勝ちを引き寄せた。「サヨナラ打はオープン戦で経験があるけど勝負強くないんです」と謙遜するが、西川監督も「よく打ってくれた」と守備が得意という殊勲の9番打者をたたえていた。